

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞適合性審査 自己説明・公表書式

最終更新日：令和3年3月31日

一般社団法人 日本サーフィン連盟 スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞遵守状況の自己説明

※当協会の自己説明の証憑となる書類のうち、公開可能なものについては、次のページにて公開している。<https://www.nsa-surf.org/>

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
1	〔原則1〕組織運営等に関する基本計画を策定し公表すべきである	(1) 組織運営に関する中長期基本計画を策定し公表すること	『2017年度～2026年度計画』という中長期計画を策定している。年度毎決算後に理事会にて運営方法を定め、中長期計画に沿った年次計画収支予算を策定し社員総会の承認を得たあとHP等に掲載し、公表している。	一般社団法人日本サーフィン連盟総合計画 2017年度～2026年度計画、2021年度一般社団法人日本サーフィン連盟定時社員総会議案
2	〔原則1〕組織運営等に関する基本計画を策定し公表すべきである	(2) 組織運営の強化に関する人材の採用及び育成に関する計画を策定し公表すること	策定していない。	

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
3	〔原則1〕 組織運営等に関する基本計画を策定し公表すべきである	(3) 財務の健全性確保に関する計画を策定し公表すること	「長期財務計画書（改善計画書）」という長期計画を策定している。 毎年度末に税理士により収支決算報告書を作成し、理事会にて次年度の予算案作成し社員総会により承認を得るようにしている。外部監査も定期的実施している。	長期財務計画書（改善計画書）、2021年度一般社団法人日本サーフィン連盟定時社員総会議案
4	〔原則2〕 適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。	(1) 組織の役員及び評議員の構成等における多様性の確保を図ること ①外部理事の目標割合（25%以上）及び女性理事の目標割合（40%以上）を設定するとともに、その達成に向けた具体的な方策を講じること	外部理事割合25%及び女性理事割合40%を目標とするが、2021年4月より外部理事20%（10名中2名、女性理事30%（10名中3名）になり、今後も外部理事および女性理事の確保を引き続き行っていく。	2021年度一般社団法人日本サーフィン連盟定時社員総会議案

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
5	〔原則2〕適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。	(1) 組織の役員及び評議員の構成等における多様性の確保を図ること ②評議員会を置くNFにおいては、外部評議員及び女性評議員の目標割合を設定するとともに、その達成に向けた具体的方策を講じること	評議員会の設置はしていない。将来的な整備を検討しています。	
6	〔原則2〕適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。	(1) 組織の役員及び評議員の構成等における多様性の確保を図ること ③アスリート委員会を設置し、その意見を組織運営に反映させるための具体的な方策を講じること	アスリート委員会は設置済みであり、年1回以上の会議は実施されているが、運営規定が未整備のため組織運営に当委員会の意見は反映されていなかった。2021年改選により女性理事を加え新体制にて運営を強化していく。	2021年度一般社団法人 日本サーフィン連盟定時 社員総会議案
7	〔原則2〕適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。	(2) 理事会を適正な規模とし、実効性の確保を図ること	定款第5章にて理事10名以上、25名以内、監事1名以上、2名以内、相談役若干名と定めがあり、2021年度は改選により理事10名、監事1名、相談役1名にて運営し監事や相談役には税理士、弁護士を配置している。	2021年度一般社団法人 日本サーフィン連盟定時 社員総会議案

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
8	〔原則2〕適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。	(3) 役員等の新陳代謝を図る仕組みを設けること ①理事の就任時の年齢に制限を設けること	就任時における年齢の制限は設けていない。今後の課題として検討します。	定款
9	〔原則2〕適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。	(3) 役員等の新陳代謝を図る仕組みを設けること ②理事が原則として10年を超えて在任することがないように再任回数の上限を設けること	新陳代謝を図る仕組みとして特に定めてはない。ガバナンスコードを鑑み、今後理事が原則として10年を超えて存在することがないように組織づくりに取り組んでいく。	定款
			<p>【激変緩和措置（または例外措置）が適用される場合に記入】</p> <p>*適用することが良いので基準を作成することが不可欠、今回の改選ではIFの役員がいるので2023年度改選において基準の変更を予定している。</p>	

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
10	〔原則2〕適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。	(4) 独立した諮問委員会として役員候補者選考委員会を設置し、構成員に有識者を配置すること	諮問委員会として独立した委員会は設置していない。「役員選出要綱」により内部役員で構成される選考委員会で推挙し、社員総会において選任している、今後改善を検討する。	定款、役員選出要項
11	〔原則3〕組織運営等に必要な規程を整備すべきである。	(1) NF及びその役職員その他構成員が適用対象となる法令を遵守するために必要な規程を整備すること	定めている。	一般社団法人日本サーフィン連盟倫理規定、就業規則、一般社団法人日本サーフィン連盟事務分掌規程
12	〔原則3〕組織運営等に必要な規程を整備すべきである。	(2) その他組織運営に必要な規程を整備すること ①法人の運営に関して必要となる一般的な規程を整備しているか	定款、各種要項を定めている。	定款、就業規則、一般社団法人日本サーフィン連盟 経理規程
13	〔原則3〕組織運営等に必要な規程を整備すべきである。	(2) その他組織運営に必要な規程を整備すること ②法人の業務に関する規程を整備しているか	定めている。	就業規則、日本サーフィン連盟審査会要綱、日本サーフィン連盟事務決裁規則、一般社団法人日本サーフィン連盟 随意契約に関する取扱い基
14	〔原則3〕組織運営等に必要な規程を整備すべきである。	(2) その他組織運営に必要な規程を整備すること ③法人の役職員の報酬等に関する規程を整備しているか	理事、役員、事務局員に関する謝金要綱、旅費に関する要綱を定めている。	謝金に関する要綱、旅費に関する要綱

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
15	[原則3] 組織運営等に必要な規程を整備すべきである。	(2) その他組織運営に必要な規程を整備すること ④法人の財産に関する規程を整備しているか	定款第3章(第5条~第11条)において資産・会計について定めている。	定款、就業規則、一般社団法人日本サーフィン連盟 経理規程
16	[原則3] 組織運営等に必要な規程を整備すべきである。	(2) その他組織運営に必要な規程を整備すること ⑤財政的基盤を整えるための規程を整備しているか	財政基盤を整える為の規定は整備されていない、今後策定していく。	
17	[原則3] 組織運営等に必要な規程を整備すべきである。	(3) 代表選手の公平かつ合理的な選考に関する規程その他選手の権利保護に関する規程を整備すること	代表選手の選考における、選考基準及び構成に関する要綱を整備している。	強化選手の指定及びナショナルチームの編成に関する要綱
18	[原則3] 組織運営等に必要な規程を整備すべきである。	(4) 審判員の公平かつ合理的な選考に関する規程を整備すること	公認ジャッジの講習会及び試験を開催し審判委員の向上を目指し、大会においては要請があればジャッジ委員会より派遣も行っている。	事務分掌規程(ジャッジ委員会)第14条
19	[原則3] 組織運営等に必要な規程を整備すべきである。	(5) 相談内容に応じて適切な弁護士への相談ルートを確保するなど、専門家に日常的に相談や問い合わせをできる体制を確保すること	法律事務所と顧問契約を締結し、いつでも相談できる体制を整えている。定期的な財務、税務等の監査・助言を受け、いつでも相談できる体制を整えている。社労士と就業業務の契約を締結し、いつでも相談できる体制を整えている。	法律顧問契約、社労士事務所との顧問契約

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
20	[原則4] コンプライアンス委員会を設置すべきである。	(1) コンプライアンス委員会を設置し運営すること	2018年より委員会の設置はされていたが、他委員会との重複が多く専任としての活動が無く、2021年4月より重複者を減らし専門に活動できる体制を整える。	委員会名簿
21	[原則4] コンプライアンス委員会を設置すべきである。	(2) コンプライアンス委員会の構成員に弁護士、公認会計士、学識経験者等の有識者を配置すること	現状の委員に加え、弁護士、公認会計士、学識経験者等の有識者を配置する組織を作りを目指していく。	

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
22	〔原則5〕コンプライアンス強化のための教育を実施すべきである	(1) NF役職員向けのコンプライアンス教育を実施すること	NF役員及び事務局員に対してのコンプライアンス教育を、2021年8月開催に向けて準備していく。	
23	〔原則5〕コンプライアンス強化のための教育を実施すべきである	(2) 選手及び指導者向けのコンプライアンス教育を実施すること	NF強化指定選手約80名に対しては、強化合宿にて教育を実施している。また、ジュニア選手に対しては、他の合宿でも実施している。	
24	〔原則5〕コンプライアンス強化のための教育を実施すべきである	(3) 審判員向けのコンプライアンス教育を実施すること	2021年8月開催に向けて準備していく。	

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
25	〔原則6〕 法務、 会計等の体制を構 築すべきである	(1) 法律、税務、会計等の専 門家のサポートを日常的に受 けることができる体制を構築 すること	法律事務所と顧問契約を締結し、いつでも相談できる体制を整えている。定期的な財務、税務等の監 査・助言を受け、いつでも相談できる体制を整えている。社労士と就業業務の契約を締結し、いつ でも相談できる体制を整えている。	法律事務所との顧問契 約、社労士事務所との顧 問契約
26	〔原則6〕 法務、 会計等の体制を構 築すべきである	(2) 財務・経理の処理を適切 に行い、公正な会計原則を遵 守すること	一般社団法人の会計原則を遵守し、年一回外部監査法人の指摘・助言により、財務・経理の公正な会 計原則を遵守している、毎年3月の定時社員総会時に監事による監査報告書を公表している。	監査報告書
27	〔原則6〕 法務、 会計等の体制を構 築すべきである	(3) 国庫補助金等の利用に関 し、適正な使用のために求め られる法令、ガイドライン等 を遵守すること	国や助成元における要項などの定めに従って、適切に処理し、国や助成元における監査を受けてい る。	

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
28	[原則7] 適切な情報開示を行うべきである。	(1) 財務情報等について、法令に基づく開示を行うこと	官報掲載により情報をHPにて開示している。	官報
29	[原則7] 適切な情報開示を行うべきである。	(2) 法令に基づく開示以外の情報開示も主体的に行うこと ① 選手選考基準を含む選手選考に関する情報を開示すること	選手選考基準及び選考結果についてはホームページ等を活用し開示している。	ホームページ参照URL ○強化指定選手 https://www.nsa-surf.org/news/20201230_kyoka/ ○アジアビーチゲームズ https://www.nsa-surf.org/news/asian-beach-games-2020-sup/ ○オリンピック出場権 https://www.nsa-surf.org/news/olympic-qualification/
30	[原則7] 適切な情報開示を行うべきである。	(2) 法令に基づく開示以外の情報開示も主体的に行うこと ② ガバナンスコードの遵守状況に関する情報等を開示すること	ガバナンスコードの遵守状況に関する開示に関しては、今後HPにて公表していく。	

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
31	[原則8] 利益相反を適切に管理すべきである	(1) 役職員、選手、指導者等の関連当事者とNFとの間に生じ得る利益相反を適切に管理すること	倫理規程（禁止事項）第5条（8）において「運営費、補助金、助成金等の経理処理に関し、会計基準に基づかない不適切な処理や他の目的の流用や不正行為を行うこと。」と定めている。	倫理規定
32	[原則8] 利益相反を適切に管理すべきである	(2) 利益相反ポリシーを作成すること	倫理規程において定めているが利益相反ポリシーについても作成していく。	倫理規程

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
33	[原則9] 通報制度を構築すべきである	(1) 通報制度を設けること	通報制度は、審査申請書を提出してもらい対応している。	審査会要綱
34	[原則9] 通報制度を構築すべきである	(2) 通報制度の運用体制は、弁護士、公認会計士、学識経験者等の有識者を中心に整備すること	現状、通報窓口の審査会は理事長・副理事長・専務理事・運営委員会の長・事務局長にて構成しており、弁護士、公認会計士、学識経験者等の有識者を配置することをふまえた組織改編を検討する。	審査会要綱

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
35	[原則10] 懲罰制度を構築すべきである	(1) 懲罰制度における禁止行為、処分対象者、処分の内容及び処分に至るまでの 手続を定め、周知すること	懲罰（処分）は理事会おいての決定による、公正を期するために、当事者の弁明の機会を設け、その意見を聞くことを原則とする。処分について異議がある場合は、理事長に対して再審査を求めることができる。	倫理規程
36	[原則10] 懲罰制度を構築すべきである	(2) 処分審査を行う者は、中立性及び専門性を有すること	倫理委員会は理事会が兼ねるものとする。	倫理規程

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
37	〔原則11〕選手、指導者等との間の紛争の迅速かつ適正な解決に取り組むべきである。	(1) NFにおける懲罰や紛争について、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構によるスポーツ仲裁を利用できるよう自動応諾条項を定めること	倫理規程第12条に定めている。	倫理規程
38	〔原則11〕選手、指導者等との間の紛争の迅速かつ適正な解決に取り組むべきである。	(2) スポーツ仲裁の利用が可能であることを処分対象者に通知すること	理事会等で敏速に対応している。また、当事者にはスポーツ仲裁機構を活用可能であることを報告している。	倫理規程

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
39	〔原則12〕危機管理及び不祥事対応体制を構築すべきである。	(1) 有事のための危機管理体制を事前に構築し、危機管理マニュアルを策定すること	緊急時の対応に関する要綱を策定し、対応している。	緊急時の対応に関する要綱
40	〔原則12〕危機管理及び不祥事対応体制を構築すべきである。	(2) 不祥事が発生した場合は、事実調査、原因究明、責任者の処分及び再発防止策の提言について検討するための調査体制を速やかに構築すること ※審査書類提出時から過去4年以内に不祥事が発生した場合のみ審査を実施	調査等に関する特別委員会要綱で、対応している。	調査等に関する特別委員会要綱
41	〔原則12〕危機管理及び不祥事対応体制を構築すべきである。	(3) 危機管理及び不祥事対応として外部調査委員会を設置する場合、当該調査委員会は、独立性・中立性・専門性を有する外部有識者（弁護士、公認会計士、学識経験者等）を中心に構成すること ※審査書類提出時から過去4年以内に外部調査委員会を設置した場合のみ審査を実施	調査等に関する特別委員会要綱で構成される委員で対応している。外部有識者は含まれる構成とするように委嘱者を選定する。	調査等に関する特別委員会要綱

(様式5) スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>適合性審査 自己説明・公表書式

審査項目 通し番号	原則	審査項目	自己説明	証憑書類
42	〔原則13〕 地方組織等に対するガバナンスの確保、コンプライアンスの強化等に係る指導、助言及び支援を行うべきである。	(1) 加盟規程の整備等により地方組織等との間の権限関係を明確にするとともに、地方組織等の組織運営及び業務執行について適切な指導、助言及び支援を行うこと	日本サーフィン連盟支部設置等要綱を定めている。現状都道府県内に複数支部が存在しておりスポーツ協会加盟を目指し2023年を目途に調整していく。	支部設置等要綱
43	〔原則13〕 地方組織等に対するガバナンスの確保、コンプライアンスの強化等に係る指導、助言及び支援を行うべきである。	(2) 地方組織等の運営者に対する情報提供や研修会の実施等による支援を行うこと	年4回の全国支部長会議にて、情報提供、相談及び助言を実施している。	